

認知症作業療法 活動報告（概要）

2015年から東京都作業療法士会の特設委員会として、認知症の人と家族の生活支援委員会の活動を継続している。今年度から常設委員会としてさらに事業範囲を拡大し活動中。認知症アップデート研修や「認知症リハビリ最前線!!」と題した認知症フォーラムを毎年開催。認知症関連施策への参画として「超高齢社会と図書館研究会」や医師会主催の「多職種連携会議」に参加。FacebookやTwitterの活用や委員会ホームページを開設し、OT以外にも広く認知してもらえるよう広報および情報発信をしている。

研修事業

1. アップデート研修（年1回、今年度で3回目）
都士会各ブロックと協力し、企画と講師の派遣。
2. 都学会セミナー開催（3年連続）
主に若いOT向けの内容で企画。
例年100名前後の参加者あり。



委員会オリジナルベストです

認知症フォーラム事業（都民、関連職種向け）

2016年、2017年と都民向けフォーラムを開催。ともに200名を超える参加者があった。今年度は介護支援専門員を主な対象として開催予定。

調査事業

1. 初期集中支援事業に関する調査

各自治体窓口、認知症疾患医療センターにアンケート配布し、初期集中支援事業に関わっているOTについて実態を調査した。回収率65%。疾患センターに関与しているOTは50%、初期集中支援事業はチーム数に対して約20%と少ない状況が分かった。

2. 東京都認知症作業療法の実態調査

OT協会が予定している実態調査と関連して、東京都における認知症のOT実態を把握するための調査を今年度中に予定している。

広報

認知症の人と家族の生活支援委員会

検索

Facebook、Twitter、ブログで
OTの視点や日常を発信中！

関連団体との共同事業

1. 超高齢社会と図書館研究会とコラボレーション

- ◇筑波大学で開催された研究大会に講師派遣と委員参加（9.28）
図書館司書、行政司書等他職種とディスカッション
- ◇「本の処方箋プロジェクト」認知症にやさしい図書館づくり

2. 多職種連携パンフレット作成（医師会を中心として作成） →



今後の展開

- ・初期集中支援事業に関するアンケート結果を活かし、参画しやすい環境を作る
- ・東京都および、各自治体から認知症に関する委託事業を受けられるようにする
- ・関連職種、家族、当事者等に作業療法の成果を示しながら、継続して連携を深める